

## 2006 年度 IBPSA 日本総会と研究発表会のお知らせ

今年度の IBPSA 日本支部の総会と研究発表会が下記の通り開催されます。支部総会では年度の活動報告と次年度の計画などが議題となります。

日 時：2007 年 2 月 15 日(木) 支部総会(10:00-)、研究発表会(第 1 部：10:30- オーラル、第 2 部：11:30- ポスターセッション、第 3 部：13:00- オーラル) 第 4 部は BEST(Building Energy Simulation Tools, 後述)の紹介となる予定です(詳しいプログラムは追ってご案内します)。

場 所：日本建築学会大ホール

対象者：IBPSA 日本支部会員ならびに関連実務者、研究者など

参加費：無料(会員)、3000 円(会員外)、500 円(会員外学生)。会員の方は会費(2 年間 6000 円)を納入頂く旨、別途ご案内します。

申し込み方法：メールあるいは FAX で、1)ご所属、2)ご氏名、3)電話番号、4)fax 番号、5)e-mail を明記の上、下記事務局宛にお申してください。

論文募集：発表論文を募集しています。締切は 11 月 15 日(査読付き論文)、12 月 15 日(査読無し論文)です。応募方法は追ってお知らせ致します。

問合せ先：下記にお問合せ下さい。

事務局：宮城高専地域共同テクノセンター 内海康雄 〒981-1239 宮城県名取市愛島塩手字野田 48,

TEL:022-381-0298 FAX:022-381-0298 Email: [ibpsa@japan.email.ne.jp](mailto:ibpsa@japan.email.ne.jp)あるいは[tutsumi@miyagi-ct.ac.jp](mailto:tutsumi@miyagi-ct.ac.jp)

## IBPSA 日本支部の日本建築学会及び空気調和・衛生工学会との共同活動状況

IBPSA 日本支部では、会員の日本での活動を各学会で引き続き行うと共に、IBPSA を通じた海外での活動の情報提供などの窓口としての活動を行うために、日本建築学会「伝熱小委員会」(熱システム設計 WG・熱性能 WG・都市環境 WG)・「熱環境シミュレーション小委員会」と空気調和・衛生工学会「熱負荷シミュレーションと装置容量小委員会」との共同活動を行っています。なお、熱環境シミュレーション小委員会では、教育用熱環境シミュレーションソフトの開発を行う WG を立ち上げようとしており委員を募集しています(教育用ソフトの開発に興味がある方は、藤井晴行主査(東京工業大学) Email: [hfuji@arch.titech.ac.jp](mailto:hfuji@arch.titech.ac.jp) にお問い合わせ下さい)。

## BS2007 国際会議 北京で開催予定



IBPSA 主催の BS2007 (Building Simulation 2007) は 2007 年 9 月 3 日から 6 日に北京(中国)の清華大学で開催されます。建物管理を含む建物環境のモデリングとシミュレーションがテーマとなっています。研究論文の発表のほか、製品の展覧会やソフトウェアのデモンストレーションなどが併せて行われます。

アブストラクト投稿締切は 9 月 15 日です。以降のスケジュールは、2005 年 11 月 30 日査読回答、2007 年 2 月 15 日フルペーパー投稿締切、2007 年 4 月 30 日査読回答、最終フルペーパー締切 2005 年 5 月 15 日、最終受入の連絡 2005 年 5 月 31 日となっています(詳細情報は<http://www.bs2007.org.cn/>)。

## 日本の熱シミュレーションプログラム BEST の開発始まる

建物と空調機器を同時に扱って、その熱的性能をシミュレーションするプログラム BEST(Best Energy Simulation Tool)の開発が IBEC( (財) 建築環境・省エネルギー機構)が事務局となり開始されました。

京都議定書の発効に伴い、特に民生分野(業務用ビルと住宅)における省エネルギーが大きな課題となっていますが、新築・既存建物に適用できる 総合的なエネルギー消費量の算出ツールが必要です。そこで IBEC がエネルギー消費量算出ツールの開発・普及を行うこととし、「(仮称)BEST 開発普及委員会」(委員長：村上周三 慶応義塾大学 教授)を 18 年度に創設しました。

特徴としては、ユーザーフレンドリー、拡張性に優れる、メンテナンスの充実、国際性、web 利用などの先進的な項目が挙げられています。オブジェクト指向の考え方に基いて、プログラムの設計・開発が行われています。作業が進むとともに、国内外への情報発信が行われるとのことです。詳しい情報は、<http://www.ibec.or.jp/best/index.html>をご覧ください。

## 書籍紹介 Advanced Building Simulation, edited by Ali M. Malkawi and Godfried Augenbroe, Spon Press, 2004.

### Table of Contents

Prologue: Introduction and Overview of Field	Ali M. Malkawi and Godfried Augenbroe
1 Trend in Building Simulation	Godfried Augenbroe
2 Uncertainty in Building Simulation	Sten de Wit
3 Simulation and Uncertainty: Weather Predictions	Larry Degelman
4 Integrated Building Airflow Simulation	Jan Hensen
5 The use of CFD Tools for Indoor Environmental Design	Qingyan (Yan) Chen and Zhiqiang (John) Zhai
6 New Perspectives on CFD Simulation	D. Michelle Addington
7 Self Organizing Models for Sentient Buildings	Ardehsir Mahdavi
8 Developments in Interoperability	Godfried Augenbroe
9 Immersive Building Simulation	Ali M. Malkawi
Epilogue	Godfried Augenbroe and Ali M. Malkawi



出版されてから2年以上たっていますのでご存知の会員も多いと思いますが、本書は数少ない建物シミュレーションの専門書の一つで、IBPSAの現会長であるJan Hensen氏も執筆者に名を連ねています。1章は、この分野の歴史や最新トレンドについて述べられています。2章と3章は不確かさ(uncertainty)が話題となっています。不確かさは、もともと計測分野で精度や誤差に替わるデータの信頼性を表す概念として1990年代初めから使われるようになった言葉ですが、シミュレーションにおいても、モデル化、モデルパラメータ、気象データ等の入力パラメータの不確かさが影響し、結果にも不確かさが生じます。2章では不確かさのもとの意思決定問題も含めて不確かさ解析の概要について、3章では確率的気象データ生成について述べられています。4章から6章はCFD(Computational Fluid Dynamics)関連ですが、CFDそのものというより、応用に当たった知識の整理や応用事例の紹介です。7章は、建物におけるシミュレーションベース制御の概要と、昼光利用時の照明制御・空調制御への適用事例について述べられています。8章ではツール間のデータ交換等、相互運用性の問題が、9章ではVR等への展開が述べられています。全般的に、研究紹介的な内容でself-containedではありませんが、建物シミュレーション分野で、現在、注目されていることが一望できる書籍となっています。

## これからのスケジュール

- ・IBPSA日本支部の総会は2007年2月15日(木)に開催予定です。
  - ・IBPSAのBS2007は2007年9月3日から北京(中国)の清華大学で開催されます。
- 関連する国際会議の予定は以下の通りです。

<b>2006</b>	
Sep. 06-08	PLEA 2006, Passive and Low Energy Architecture, Geneva, Switzerland, <a href="http://www.plea2006.org/">http://www.plea2006.org/</a>
Dec. 11-13	SSB 2006(International Conference on System Simulation in Buildings) Liège, Belgium, <a href="http://www.ssb2006.ulg.ac.be/">http://www.ssb2006.ulg.ac.be/</a>
<b>2007</b>	
Jan. 27-31	ASHRAE Winter Meeting, Dallas, USA, <a href="http://www.ashrae.org/template/MeetingLinkLanding/category/1718">http://www.ashrae.org/template/MeetingLinkLanding/category/1718</a>
Jun. 10-14	WellBeing Indoors: CLIMA 2007, Helsinki, Finland, <a href="http://www.clima2007.org/">http://www.clima2007.org/</a>
Jun. 13-15	Roomvent 2007, Helsinki, Finland, <a href="http://www.roomvent2007.org/">http://www.roomvent2007.org/</a>
Sep. 03-06	Building Simulation 2007, Beijing, China, <a href="http://www.bs2007.org.cn/">http://www.bs2007.org.cn/</a>
Sep. 27-29	Palenc 2007, Building Low Energy Cooling and Advanced Ventilation Technologies in the 21st century, Crete island, Greece, <a href="http://palenc2007.conferences.gr/">http://palenc2007.conferences.gr/</a>
Oct. 14-17	IAQ 2007: Healthy & Sustainable Buildings, Baltimore's Inner Harbor, Maryland, USA, <a href="http://www.iaq2007.org">http://www.iaq2007.org</a>
Oct. 28-31	IAQVEC 2007, Sendai, Japan, <a href="http://www.iaqvec2007.org/">http://www.iaqvec2007.org/</a>
Dec. 02-07	Thermal Performance of the Exterior Envelopes of Whole Buildings X, Florida, USA, <a href="http://www.ornl.gov/sci/buildings/">http://www.ornl.gov/sci/buildings/</a>
<b>2008</b>	
Aug. 17-22	Indoor Air 2008, Copenhagen, Denmark, <a href="http://www.indoorair2008.org/">http://www.indoorair2008.org/</a>
Sep. 21-25	SB08, World Sustainable Building Conference, <a href="http://www.sb08melbourne.org/">http://www.sb08melbourne.org/</a>

## 会費納入と勧誘のお知らせ

IBPSA日本支部の会費は2年間で6000円です。今年度について会費が未納入の方には事務局から後ほどご連絡致しますので、お支払いをお願い申し上げます。会員になると定期的に発行されるニュースレターを受取るほか、IBPSA関連のニュースが随時メールで送られます。さらに2年に1回開催されるBS国際会議での登録費割引が受けられます。ぜひまわりの方にも会員となるようお勧誘いただくようお願い申し上げます。

## 編集デスクから

- ・ニュースレターへの投稿を歓迎いたします。
- ・皆様の周辺で、現在、海外の大学、研究機関、関連企業などでご活躍、一時滞在の方はおられないでしょうか。ビルディングシミュレーションに関連する海外動向や研究機関紹介などの原稿を御願ひできそうな方がいらっしゃれば、是非ご紹介下さい。
- ・連絡先：首都大学東京 永田([ngt@comp.metro-u.ac.jp](mailto:ngt@comp.metro-u.ac.jp))。